

子ども支援へ おせちを贈る

山口の会社



栢島社長（左）からおせち
をもらって喜ぶ子どもたち

山口市の贈答品販売会社
「誠和」（栢島弘幸社長）
は29日、宇部市の交流施設

「キッズラップ」子ども第
三の居場所「山口宇部拠点」
に、自社の迎春おせちセッ

ト50世帯分を贈った。
同社は今年、本社を北九
州市から山口市へ移転。県
内での社会貢献を考えてい
たところ、困難を抱える子
どもたちの支援を続けるキ
ッズラップの存在を知り、
おせち料理を贈ることにし
たという。

おせちセットは、数の子
や煮しめなどが詰められた
3段の重箱で、受け取った
子どもたちは「ありがとう」
と言って喜んでいた。栢島
社長は「おせちという伝統
の食文化を子どもたちに知
ってもらおうと贈った。来
年以降も続けたい」と話し
ていた。